

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	6002	領域略称名	星惑星形成
研究領域名	新しい星形成論によるパラダイムシフト:銀河系におけるハビタブル惑星系の開拓史解明		
領域代表者名 (所属等)	犬塚 修一郎 (名古屋大学・理学研究科・教授)		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域は、最先端のミリ波・サブミリ波望遠鏡や特色ある赤外線望遠鏡と観測装置を駆使して新しい観測データを得るとともに、星惑星形成や惑星大気形成の理論研究と密接に連携し、ハビタブル惑星系の起源を銀河系スケールで統合的に解明しようとする研究である。

計画研究と公募研究の調和が図られ、既に多くの成果が論文として発表されていることは評価に値する。新たに100個以上の太陽系外惑星を発見するなど若手研究者の活躍による期待以上の進展も見られ、若手育成も進んでいる。領域大研究会、月例ゼミ、ラボローテーションなどの連携強化策、若手育成策が順調に機能していることがわかる。日本独自の装置開発を進めており、今後これらの新しい装置による観測を実現し、更に大きな進展となることを期待する。

一方、「太陽系の誕生場所を突き止める」という壮大な目標を達成するには説得力のある説明が必要であり、より具体的な戦略が必要である。また、他の新学術領域研究や異分野との交流や融合を通じた更なる発展にも期待する。